

社会保険労務士稻門会会報

都の西北

第6号

平成17年9月20日 発行：社会保険労務士稻門会
発行人：藤原 久嗣

第5回定期総会・会設立5周年を迎えました！ 平成17年7月2日



平成17年7月2日（土）午後5時よりリーガロイヤルホテル東京にて「第5回定期総会」が開催されました。

今年の総会は、本会創立5周年を迎える記念すべき会となりました。

第1部の定期総会は、古谷仁幹事（東京会）の司会で開会し、議長に中島浩喜氏（副会長・愛知会）を選出した後、まず、16年度の事業報告、決算報告および監査報告が行われ、続いて17年度の予算案および事業計画案が提案され、いずれの議案も満場一致で可決されました。

次に役員改選に入り、住吉忠男副幹事長（東京会）、村上芳明副幹事長（東京会）の副会長への昇格、蒲生秀晴幹事（東京会）の副幹事長の昇格を決定し、更に一杉則夫氏（東京会）、二宮孝氏（東京会）、花山訓子氏（東京会）、増山育男氏（神奈川会）、見方雅教氏（東京会）、若山聰氏（神奈川会）、和田泰明氏（東京会）の7氏の新幹事就任が、提案とおり満場一致で承認・可決されました。

その後、早稲田大学副総長・田山輝明氏による「大学の近況についてのご講演」で125周年を控える大学の様子について、種々のお話を頂き、第1部を終了しました。

第2部懇親会は、引き続き同じ会場で、蒲生秀晴副幹事長（東京会）の司会で開会し、藤原久嗣会長の挨拶、来賓ご祝辞に続き、小笠原浩之幹事（秋田会）による乾杯の後、歓談に入りました。他士業及び他大学社労士会の方々をご来賓に迎え、恒例の新参加者の紹介等も行い、多方面に交流を深めることができました。

最後に、創立125周年記念事業募金局・石川範行氏のすばらしい音頭で参加者全員による校歌の齊唱が行われた後、お開きとなりました。

※題字は小林昌尚相談役の筆によるものです。

新役員のご挨拶

新副会長就任ご挨拶 住吉 忠男

このたび、6月の定期総会におきまして、社会保険労務士稻門会設立準備委員の一員だったということで、副会長に選任していただきました。微力ではありますが、会の運営と発展にお役に立つよう努めたいと思います。

稻門会発足以来、会計の担当をして参りましたが、会員皆様のご協力により、無事任務を全うすることができました。あらためて御礼申し上げるとともに、これからもよろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

新副会長就任ご挨拶 村上 芳明

平成17年度第5回定期総会において、副会長を仰せつかりましたが、今後は従前にも増して藤原会長をアシストし、会員の皆様のため努力する所存ですので、宜しくお願ひ申し上げます。

幸い大学の校友課、厚生課とのパイプがありますので、ご要望等ございましたら、是非お聞かせ下さい。また我が稻門会には、小松顧問をはじめ連合会、東京会の重鎮が多数いらっしゃいますので、大いに交流を深めていただきたいと思います。

一杉 則夫 新幹事

この度、社労士稻門会幹事の推薦をいただきましたことは私にとって大変光栄なことです。定期総会後の懇親会での同窓の皆様との会話、最後の校歌斎唱は、青春時代を思い出し早稲田精神が蘇るのを感じました。

昨年9月に開業登録したばかりで、幹事としての責任を果たせるのか疑問もあります。しかし、心の隅にある「進取の精神」と諸先輩のご指導・ご鞭撻を拵りどころに、微力ではありますが、社労士稻門会発展のため寄与いたしたいと考えています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

二宮 孝 新幹事

このたび会の幹事就任となり、あらため身の引き締まる思いです。

私は昭和54年に法学部を卒業して、企業の人事部を二社経験の後、銀行系のコンサルティング会社を経て平成5年に独立しました。現在、第3号業務を中心とする業としております。仕事上でさまざまな業界とのご縁がありますが、ほとんどの企業、法人、自治体で稻門の方がいます。親近感を感じ、その上仕事もスムーズに運ぶのはうれしい限りです。今度は、微力ながら同業の稻門の方々を中心とした架け橋になるべく頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

若山 誉 新幹事

幅広く社会保険労務士の仕事を広めていきたいと考えております。また、社会保険労務士稻門会の活動を早稲田の校友会、稻門会を始め各種関係諸団体及び一般の方にも広く認知していただけるよう頑張っていきたいと思っております。加えて、神奈川は、社会保険労務士稻門会の会員が少ないため、会員の増強を積極的に進めています。

会員の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。

見方 雅教 新幹事

この度新幹事を拝命いたしました見方雅教と申します。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。私のような若輩者に社労士稻門会の幹事が務まるのか正直不安なところもございます。しかし私を推薦してくださった方々のご期待に少しでも応えられますよう、そして社労士稻門会が更に発展しますよう精一杯の努力をしたいと思います。幹事として至らぬ部分が多くあるとは思いますが、そこはご容赦いただき、ご指導・ご鞭撻を賜りたいと思います。

社会保険労務士稻門会・役員一覧

役名	氏名	卒業年・所属会	役名	氏名	卒業年・所属会
名誉会長	福島 誠一	昭11年卒 東京会	幹事	鈴木 ひろみ	平2年卒 東京会
顧問	小松 茂樹	昭29年卒 東京会	ク	関口 光英	昭59年卒 埼玉会
ク	坂井 俊一	昭36年卒 東京会	ク	田口 純一	昭41年卒 東京会
相談役	小林 昌尚	昭30年卒 東京会	ク	永山 基一	昭48年卒 神奈川会
会長	藤原 久嗣	昭40年卒 東京会	ク(新)	二宮 孝	昭51年卒 東京会
副会長(新)	佐吉 忠明	昭36年卒 東京会	ク(新)	花山 調子	平9年卒 東京会
副会長	川島 潤吾	昭52年卒 義知会	ク	古野 利明	昭35年卒 東京会
ク	堀口 利	昭29年卒 東京会	ク	古本 代雄	昭49年卒 福岡会
ク(新)	村上 力明	昭41年卒 東京会	ク	古谷 仁	昭60年卒 東京会
幹事長	大村 弘巳	昭51年卒 東京会	ク	卷島 剛	平3年卒 東京会
副幹事長	等原 正利	昭47年卒 埼玉会	ク(新)	増山 有男	昭49年卒 神奈川会
ク	常盤 有美	昭42年卒 東京会	ク(新)	見方 雅典	平11年卒 東京会
ク	林 智子	昭51年卒 東京会	ク	藤野 弘	昭40年卒 福岡会
ク(新)	浦生 秀晴	平5年卒 東京会	ク	茂木 正治	昭51年卒 長野会
幹事長	杉 则夫	昭42年卒 東京会	ク	若林 正清	昭55年卒 三重会
ク	小笠原 浩之	昭59年卒 稲田会	ク	渡邊 和洋	昭46年卒 東京会
ク	神谷 俊夫	昭48年卒 鹿児島会	ク	横山 弘美	昭55年卒 福岡会
ク	北村 修一	昭46年卒 長野会	ク(新)	岩山 誠	昭62年卒 神奈川会
ク	近能 明正	昭58年卒 栃木会	ク(新)	和田 泰明	昭56年卒 東京会
ク	茶郷 積	昭41年卒 東京会	会計監査	砂田 和郎	昭36年卒 東京会
ク	澤井 賢治	昭42年卒 神奈川会	ク	中川 伸一	昭40年卒 東京会
ク	吉岡 洋一	昭60年卒 東京会			以上 43名

★各委員会の業務紹介

総務委員会	広報委員会
第5回定期総会における役員改選に伴い、新委員でスタートします。総務委員会は、稻門会事務局やホームページ等のサポートも兼務しています。活動内容は、会員管理・幹事会・総会などの事務、各委員会の活動の支援、発送作業の対応などを行っています。今年は研修の企画に力を入れていきます。	会報「都の西北」の発行、ホームページの作成、早稲田学報、東京会会報への記事の掲載、その他の会の紹介に関する役割をメインに活動しています。今年は会員の皆様の企画をたくさん取り入れていきたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。本会の宣伝・広報のひとつとしてのホームページへの出店や会員同士の情報連絡方法の見直しも進めます。
厚生委員会	涉外委員会
本会は、より多くの会員の交流を図ることでその存在意義を高めていますが、他土業、異業種との交流にも力を入れています。委員会のメインイベントは、「講演と懇親の夕べ」(忘年会)、そして総会の懇親部門です。今年も、「講演と懇親の夕べ」(忘年会)は、11月26日(土)を予定しております。多数の会員のご参加をお待ちしています。	涉外委員会は、各委員会の要請に応じて、母校早稲田大学並びに校友会との折衝(総会、懇親会の「早稲田学報」への掲載、稻門祭の窓口等)、他団体(稻門他土業、他大学社労士会等)との涉外、行事の際の来賓の対応及び125周年関連募金の推進・とりまとめを主な活動業務にしています。各委員会を陰で支えています。
研修委員会	
今年初めて組織された委員会。会員の知識の向上と、会員相互の切磋琢磨の場を提供することを目的とします。具体的には会員の要望をベースに勉強会や講演会の開催を予定しています。	

総会の感想 北村 修一幹事(広報委員)

二年前の5月に入会し、その年の総会に初めて出席した。自己紹介の後、長野県と関係のある会員さんが何人かおられ安堵したものである。総会は会の全体を把握し、会員相互を知る絶好の機会だと思う。以後、毎年母校を懐かしみながら出席している。今年は新しい会員の方が多数出席され盛会であったと思う。ただ7月の東京の暑さは信州人である私にとって大変厳しく酷なものがある。

「第4回講演と懇親の夕べ」

平成16年11月13日(土)

～～石井弁護士の講演～～

盛況でした

平成16年11月13日(土)午後4時より、「神楽坂エミール」において、「第4回講演と懇親の夕べ」を開催しました。平成13年7月に社会保険労務士稻門会が設立され、その年に第1回の「講演と懇親の夕べ」を開催してから、今回ではや4回目となりました。

第1部は唐沢昭幹事(東京会)の司会で同窓・石井妙子弁護士の講演(「最近の裁判例に登場した就業規則条項」下記参照)。社労士に必要な判例をコンパクトにまとめていただき、講演後も活発な質問が出ました。

第2部は茶郷穣幹事(東京会)の司会、小笠原浩之幹事(秋田会)の乾杯の音頭で会員相互の懇親と特別ゲストのジャズボーカルとギター。年忘れにふさわしく、ムード満点でした。最後は恒例の「都の西北」。今回は古谷仁幹事(東京会)が締めてくれました。最後の最後に堀口利副会長(東京会)の閉会の辞で無事終了しました。

参考 石井弁護士の講演内容・・・「最近の裁判例に登場した就業規則条項」

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 出向命令の可否と出向規定 | ・・・新日本製鉄事件 |
| 2. 成果主義の給与減額規定 | ・・・エーシーネルセン・コホーレーション事件 |
| 3. 懲戒解雇の場合の退職金不支給 | ・・・小田急電鉄事件 |
| 4. 競業他社へ転職した場合の退職金不支給 | ・・・リフトウェア開発・ソトソ技研事件 |
| 5. 病気休職の通算規定 | ・・・日本郵政公社茨木郵便局事件 |



ホームカミングデー

「2005 稲門祭 & HOME COMING DAY」——10月23日(日)——

今年のホームカミングデーのテーマは、「お帰りなさい！青春の杜 想い出の母校へ」、交友の皆さんためのフェスティバルである稻門祭は、「125歳まで学生だ！！」です。

社労士稻門会は、一昨年、昨年に引き続き、大隈銅像横に、「年金労務相談コーナー」を出店し、今年もまた業務知識を役立てて校友との交流を図りたいと思います。

我が会は、一昨年のホームカミングデーに土業稻門会として初めて出店しましたが、3年目を迎える今年は、中身の濃い、ほんとうに校友の方のためになる相談目指して、頑張りたいと思います。社労士稻門会では、相談員・お手伝いのボランティアを募集しています。奮ってご参加下さい。

なお、ホームカミングデーの詳細は <http://www.waseda.jp/alumni/hcd/> へ。

参考:2004年 ホームカミングデー 相談内容抜粋

区分	世代性別	内 容
年金	40代男	7/31付で退職との退職届を書いたが、会社の一方的な手続きで一日前の7/30付とされてしまい、後日、年金1ヶ月未納の通知が来た。それ以外に未納期間がないか不安になってきた。⇒社会保険事務所へ。
年金	白井総長	老齢厚生年金について。⇒法改正があることを説明。
年金	30代男	国民年金半額免除。学生納付特例。滞納及び時効。年収は約150万円。
年金	63歳男	現在共済年金受給中。来年会社設立して代表取締役になる。共済年金はどうなるか。厚生年金に入らなければならないか？⇒共済は制度が違うので、社長になっても全額受給できるが、厚生年金には70歳になるまで加入し、保険料を払わなければならない。
年金	40代男	イギリス、オランダ、カナダで勤務していたが、イギリスに何年勤務すれば、イギリス国より年金が支給されるのか？⇒年金の通算制度を説明。
年金	72歳男	共済年金30万円受給中。妻は老齢基礎年金と厚生年金で11万受給中。自分が死亡した場合、妻が遺族共済年金を支給されると聞いたが、間違いないか？⇒退職共済年金の3/4が支給される。
年金	67歳	現在老齢厚生年金受給中。働きに出た場合の年金は？老齢基礎年金は繰り下げするつもりなので請求していない。法律がいろいろ変わっているが、繰下げ制度は変わっていないか？年金だけの生活で源泉課税10%とられているが、今後変更になるのか？⇒厚生年金に加入しなければ年金が減額されることはない。繰下げについては変更なし。源泉課税10%は年金のみの場合は変更なし。
年金	60代男	妻死亡。年金を受給しているが、再婚した場合、年金はどうなるか？内縁の場合は？⇒再婚した場合、夫が亡くなると、後妻に遺族年金支給。内縁の場合はケースによるが、受給権を認める判例も多い。額は老齢の3/4。
その他	20代女	平成15年3月卒業。平成17年の社労士試験を目指す。開業希望だが、人的ネットワークの形成方法は？ダブルライセンスはどのようなものかよいか？⇒行政書士が多い。稻門会へ入会を！
年金	60代男	昭和21年生。卒業後自営。半年ほどサラリーマンをした。年金は63歳から受け取れると聞いたが・・・⇒国民年金、厚生年金の仕組みを説明。社保の年金相談コーナー利用の案内。

※全部で21件の相談がありました。

講演と懇親の夕べのご案内

「第5回 講演と懇親の夕べ」を、今年も下記のとおり開催しますので、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成17年11月26日(土) 午後4時～7時
第1部 講演会(講師:早稲田大学副学長 田山 輝明氏)
演題: 未定

第2部 懇親会

【会 場】 神楽坂エミール 新宿区赤城元町1-3 TEL 03-3260-3251
東京メトロ東西線神楽坂駅より徒歩2分

【会 費】 6,000円

【連絡先】 下記、「社会保険労務士稻門会事務局」まで

※詳細は追って皆様にご通知いたします。

◆◆◆◆ 社労士稻門会への入会方法 ◆◆◆◆

社会保険労務士稻門会事務局にまずご一報ください。

事務局から入会申込書をお送りいたします。入会申込書をご提出いただいた後、改めて、年会費(5,000円)振込用紙、会則、会員名簿をお送りいたします。

連絡先:下記、「事務局」まで

URL: <http://www.sr-waseda.com/>

新会員をご紹介下さい！！

仲間を探しています。社会保険労務士としてのつながりの輪を日本中に大きく広げていきたいと思います。是非ご協力下さい。

【発 行】社会保険労務士稻門会

【事務局所在地】

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4
共同ビル新銀座5階
ヒューマンテック経営研究所内
TEL 03-3543-6326
FAX 03-3543-6169

新広報委員としての抱負

東京から遠く離れた秋田で開業している私にとって、社労士稻門会の活動に積極的に協力したいという気持ちとは裏腹に、実際にそれを行うことは大変難しいことでした。

そのような中、このたび広報委員を拝命することとなりましたが、この役割であればメール等の通信手段を活用することにより、東京との距離を縮めることができるように感じております。微力ながら会の運営に少しでも協力できるように頑張ります。

小笠原浩之幹事

久しぶりの発刊です。皆さんのご協力により、無事発行することができました。

新広報委員も張り切っております。これからも引き続きご支援をお願いいたします。[広報委員長 林智子]

編集後記